

いよいよ、プロップ・ステーション!

プロップ・ステーション
代表 竹中 ナミ

皆さん、こんにちは! 竹中ナミ、こと「ナミねえ」です。プロップ・ステーションでは、本年4月1日をもって設立準備委員会を廃し、会員制組織として公益の法人化をめざす事となりました。

前号でもお伝えしましたように、機関誌発行・相談事業・セミナーの開催・各種リサーチ活動・パソコン通信プロップNETの運営など、様々な事業が軌道に乗って来たと同時に、障害を持つ人達の就労促進や雇用開発を行う団体として、多くの皆様のご支援と認知を戴き、プロップ・ステーションが決して留まることの許されない社会的責任を負う機関になった事が、その大きな理由です。

思えば二年前、障害を持つ人の自立支援組織メインストリーム協会の中に、就労促進部門として発足した時はバブル景気の真っ最中。「行くぞーっ!」というかけ声も勇ましく、OA業界の期待を担って(?)発足したものの、直後に訪れたバブルの崩壊。「深刻な技術者不足」「技術さえあれば障害なんて関係なし」なんて、あれは夢か幻か・・・

「でも、でも、負けへん、負けへんでー!」などと叫びつつ、大阪ボランティア協会に拠点を移してまた一年。「仕事がしたい」「働きたい」という障害者自身の声と、「障害を持つ人と持たない人が、共に支えあって(プロップに)生きるのが、ほんまは当たり前の社会やないのん?」という日本のノーマライゼーション理念の高まりに支えられ、励まされて、ここまでやってきまし

た。

会員制組織への移行は、会費を納めて戴くことで事務局の経済安定を図り、各種事業をより、積極的に行うための大きな一歩です。

一人でも多くの皆様のご入会・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

新たなスタートを記念し、機関誌「FLANKER」も装丁を一新しました。障害者雇用に前向きに取り組まれる企業へ「突撃(?)訪問」を試みる企画も、スタートしました。

障害を持つ人と企業の、公平なパイプになりたい私たちです。プロップ・ステーションの活動へ、多くの企業のご協力と、積極的なご参加を心よりお待ち申し上げます。

また、プロップ・ステーションの会員である障害者のために、仕事の受注を行う有限会社イデアエ(宝塚市)をスタッフの一人、桂田隆が発足させました。長年、コンピュータプログラマとして企業のSEを勤めた経験を生かし、パソコン通信プロップNETを活用して、一人でも多くの障害を持つ会員のかたに実務経験をして戴こうとの計画です。公益の事業を行うプロップ・ステーションと、二人三脚で頑張りたいと思います。

企業の皆様、何卒、外注に出されるお仕事の一部を(有)イデアエへ!!

斬新な発想と着実な計画を実行に移すプロップ・ステーション、なんて言われてみたい私たちです。

どうぞよろしく願いいたします。

